

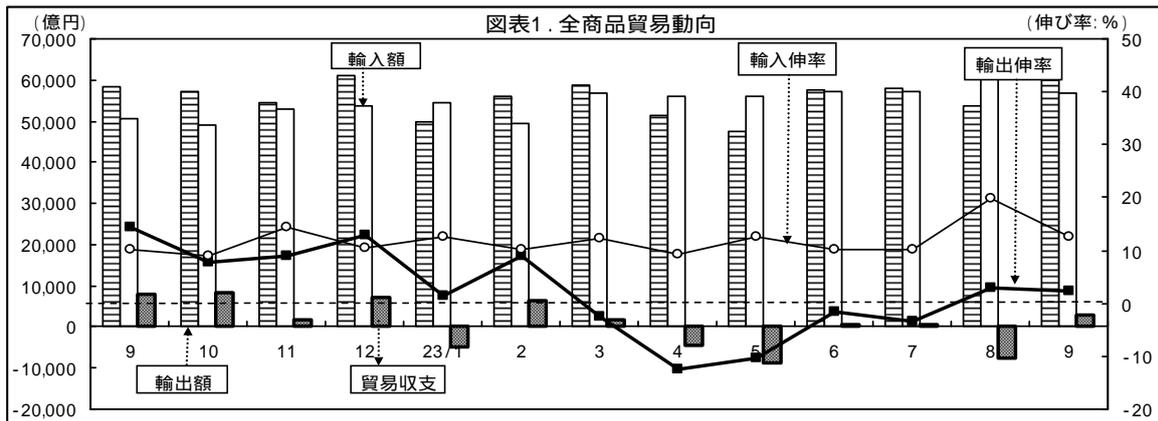
最近の機械貿易動向(9月)～機械輸出辛うじて2ヶ月連続プラス、自動車牽引～

日本機械輸出組合 2011.11.8.

平成23年9月の機械輸出額は、3兆9,385億円、対前年同月比1.2%増と辛うじて2ヶ月連続でプラスとなった。これは、機械輸出額の33%を占める自動車が6.3%増と伸び率を拡大させたこと、EU、その他地域向けが増加したことが要因である。なお、円高要因を除く実質伸び率は5.8%増と回復した。10月については、1ドル=76.7円と月間の最高値を更新し、4.8%の為替減少要因となり(営業日は同じ)、仮に10月の実質的伸び率を9月並の5.8%増とすると1%増になると予想される。因みに10月上旬の全商品輸出額は12.1%減と予想を大幅に下回っているが、これは営業日が昨年と比べ一日少ないことによるものと思われる。

1. 全商品貿易動向～輸入の伸び率が輸出を大きく上回るも、貿易収支は2ヶ月ぶりの黒字～

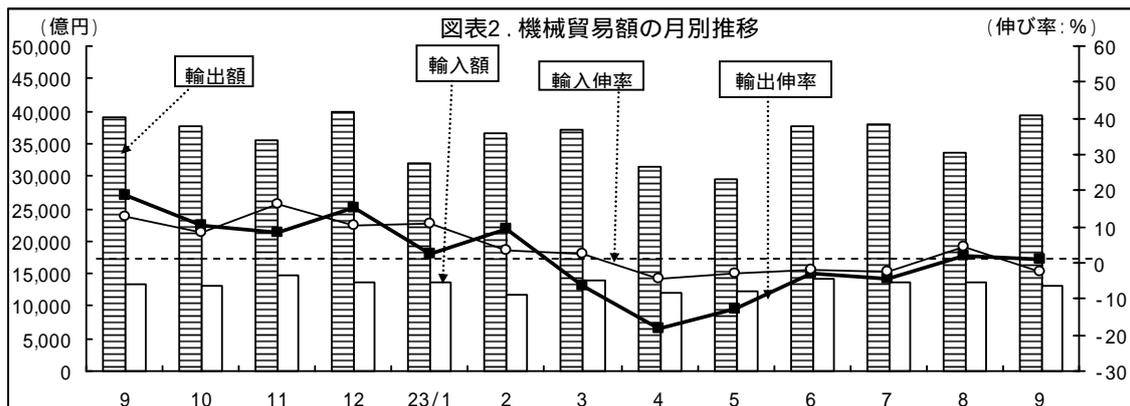
- 平成23年9月の全商品輸出額は5兆9,767億円、前年同月比(以下同じ)2.3%増と前月から若干鈍化したものの2ヶ月連続の増加となった(8月2.9%増)。これは、全輸出額の24%を占める輸送用機器(5.1%増)、特に自動車、自動車部分品等が増加したためである。他方、19%を占める一般機械(0.6%減)、18%の電気機械(4.0%減)、9%の化学製品(1.4%減)はマイナスとなった。
- 輸入額は5兆6,806億円、12.5%増と21ヶ月連続の増加となった(前月19.8%増)。これは、全輸入額の33%を占める原油、液化天然ガス等鉱物性燃料(32.5%増)、9%の化学製品(12.8%増)等が高水準の伸びを続けているためである。
- この結果、9月の貿易収支は、輸入の伸びが輸出を大きく上回ったが、輸出額が輸入額より大きかったため前月の大幅赤字から一転、2,962億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は辛うじて2ヶ月連続プラス、機械輸入は再びマイナスへ～

- 全商品輸出額の66%を占める9月の機械輸出額は3兆9,385億円、1.2%増と辛うじて2ヶ月連続のプラスとなった(8月1.8%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前の平成19年9月の78%と前月から僅かに上昇した(8月75%)。
- 一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額は、1兆3,164億円、2.5%減と再びマイナスとなった(8月4.3%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の85%と前月より(8月87%)後退した。



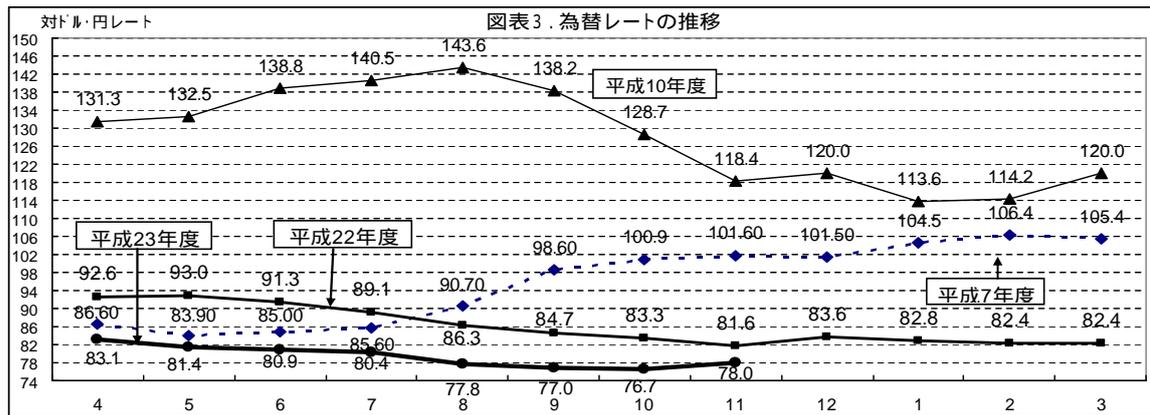
(2) 為替動向・営業日～9月は円高で4.6%の減少要因、実質伸び率は5.8%増に回復～

・9月は1ドル＝77円と月間の最高値を更新し続け前年比9.1%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝109.2円では0.4%の円高となり、合計4.6%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.6%の減少要因となった。

このため、9月の機械輸出は1.2%増であったが、為替要因を除く実質伸び率は5.8%増と伸び率も回復している(8月2.3%増)。

・10月は1ドル＝76.7円と月間の最高値を更新し続け前年比7.9%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝104円では8.5%の大幅な円高となり、合計4.8%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年と同じなので、合計4.8%の減少要因となった。

・11月は、対ドルが現状の78円とすれば4.4%の円高が続き、また、対ユーロが現状の107円とすれば5.3%の円高となり、合わせると2.7%減の為替減少要因となる。営業日が前年と同じなので、同じく2.7%減の減少要因となる。



(3) 地域別動向～NIES/ASEAN 向け9ヶ月連続マイナス、EU、その他地域向けはプラス～

・機械輸出が増加した地域的要因は、機械輸出額の13%を占めるEU向けが、自動車(18.9%増)の他、工作機械(2倍)、分析・検査機(43.8増)、建設機械(35.6%増)が増加したため9.4%増の大幅増となったこと、22%を占めるその他地域向けで、アフリカ、ロシア東欧、インド等が2ケタの大幅増となり、機種では、全体の11%を占める産業機械(28.6%増)、建設機械(34.6%増)等が増加したため6.5%増となったこと、約18%を占める中国向けは、光学機械(30.5%増)、工作機械(23.4%増)、自動車・同部品(11.6%増)、陸用内燃機(17.7%増)が大きく伸びた一方で、電子デバイス(5.4%減)、民生用電子機械(10.7%減)、建設機械、繊維機械のマイナスが響き、2.9%増と伸び率を縮小させたこと、約20%を占める北米向けで、輸出額の48%を占める自動車(0.5%増)が微増となったほか、工作機械(82.5%増)、建設機械(39.9%増)が伸び、一方で、全体の13%を占める産業機械(4.5%減)のマイナスが響いて、1.7%増となったことによる。

他方、27%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けは、台湾、香港、韓国が軒並み2ケタ減となり、業種では、半導体製造装置等産業機械、電子デバイスが大幅に減少し、7.6%減と減少幅を拡大させ9ヶ月連続のマイナスとなった。

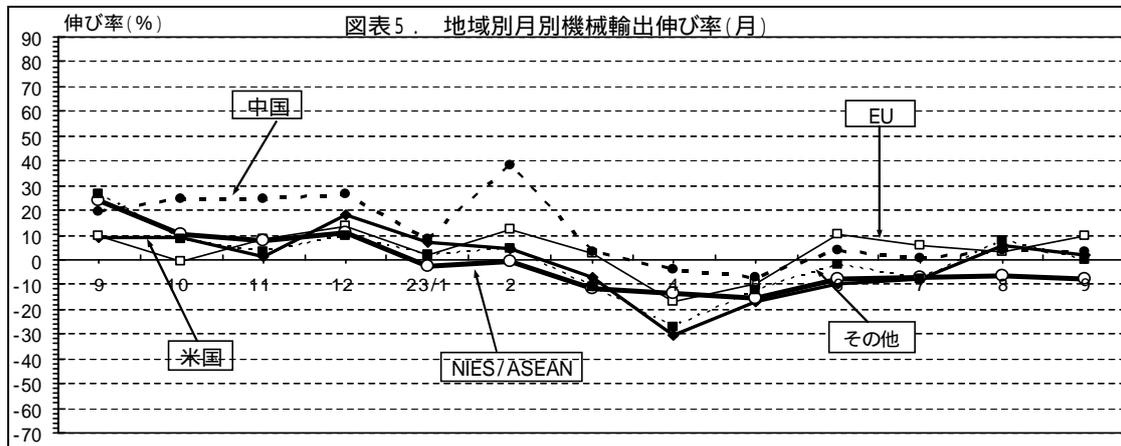
地域別では、リーマンショック時の平成19年9月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超えたが、EU、北米は未だ60%台である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/7			2011/8			2011/9			対07年 9月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,030	4.5	100	33,682	1.8	100	39,385	1.2	100	0.78
北米	7,532	7.5	19.8	6,596	6.0	19.6	7,955	1.7	20.2	0.68
EU	4,853	5.7	12.8	4,352	3.2	12.9	5,150	9.4	13.1	0.63
NIES/ASEAN	10,733	7.2	28.2	9,552	6.2	28.4	10,497	7.6	26.7	0.82
中国	7,317	0.8	19.2	6,632	4.0	19.7	7,068	2.9	17.9	1.08
その他	7,595	8.0	20.0	6,549	7.8	19.4	8,714	6.5	22.1	0.79

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/6		2011/7		2011/8		2011/9	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,985	3.3	1,899	6.0	1,865	8.8	1,730	12.0
台湾	1,867	12.6	1,770	17.6	1,500	23.5	1,708	17.2
香港	1,658	19.4	1,656	21.9	1,459	8.2	1,567	16.8
タイ	1,560	4.5	1,665	4.6	1,531	3.1	1,778	7.6
シンガポール	1,108	11.4	1,226	38.9	1,018	8.5	1,071	6.9
インドネシア	837	1.9	878	0.6	676	5.0	940	4.1
マレーシア	816	7.4	843	1.8	716	3.0	809	6.2
フィリピン	432	20.6	443	20.3	453	8.6	532	0.3
ベトナム	323	4.0	306	2.9	290	10.9	325	5.0
その他地域								
中南米	2,729	8.7	2,497	19.2	2,072	4.7	2,816	4.1
中近東	1,332	20.4	1,293	10.7	1,293	5.8	1,420	14.3
大洋州	1,128	10.5	1,227	3.2	895	0.8	1,448	6.4
ロシア東欧等	1,335	24.0	1,308	8.0	1,105	7.4	1,454	28.4
アフリカ	823	22.1	674	19.2	631	12.7	865	38.9
インド	474	8.0	487	12.0	399	18.7	520	25.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19 業種中 10 業種がプラス、自動車は機械輸出を牽引 ~

- 業種別では、全 19 業種中プラスとなったのが 10 業種で、前月より 2 業種減少し、マイナス業種は 9 業種となった。全体の 33%を占め機械輸出を下支えする自動車が 6.3%増と 2ヶ月連続でプラスとなり機械輸出を牽引した。また、工作機械(36.0%増、19ヶ月連続)、陸用内燃機(20.2%増、5ヶ月連続)、建設機械(15.9%増、2ヶ月連続)、ベアリング(14.9%増、21ヶ月連続)、光学機械(20.2%増)、分析・検査機等軽機械(11.7%増)が 2ケタの伸びとなった。一方、電子計算機(20%減)、繊維機械(15.7%減)、民生用電子機械(14.2%減)、医療機械(10.9%減)は 2ケタの大幅減となった。
- この結果、リーマンショック時の輸出額を超えているのは船舶、医療機械、ベアリング、陸用内燃機関、光学機械の 5 業種で、電子計算機は 30%台、民生用電子機械、通信機械 40%台に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

機種名	2011/7			2011/8			2011/9			対07/9比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,673	4.2	30.7	自動車	10,094	4.3	30.0	自動車	12,978	6.3	33.0	0.76
産業機械	7,031	1.0	18.5	産業機械	6,203	0.7	18.4	産業機械	6,108	7.7	15.5	0.80
電子デバイス	3,172	15.1	8.3	電子デバイス	2,931	16.5	8.7	電子デバイス	3,264	9.2	8.3	0.68
船舶	1,704	29.6	4.5	船舶	1,516	27.7	4.5	船舶	2,471	2.7	6.3	1.40
軽電気機械	2,149	5.5	5.7	軽電気機械	1,908	1.7	5.7	軽電気機械	2,156	1.7	5.5	0.80
民生用電子機械	2,008	4.0	5.3	民生用電子機械	1,820	3.1	5.4	民生用電子機械	1,921	14.2	4.9	0.49
重電気機械	1,879	7.7	4.9	重電気機械	1,703	3.4	5.1	重電気機械	1,921	4.8	4.9	0.87
軽機械	1,336	3.3	3.5	軽機械	1,183	5.7	3.5	軽機械	1,425	11.7	3.6	0.75
光学機械	1,438	7.5	3.8	光学機械	1,313	7.0	3.9	光学機械	1,463	20.2	3.7	1.11
建設機械	1,134	0.8	3.0	建設機械	1,047	10.1	3.1	建設機械	1,248	15.9	3.2	0.93
工作機械	873	47.4	2.3	工作機械	730	20.2	2.2	工作機械	886	36.0	2.2	0.99
通信機械	517	5.4	1.4	通信機械	464	8.3	1.4	通信機械	505	9.9	1.3	0.46
電子計算機	469	18.7	1.2	電子計算機	463	7.9	1.4	電子計算機	472	20.0	1.2	0.37
ベアリング	423	10.3	1.1	ベアリング	359	16.0	1.1	ベアリング	406	14.9	1.0	1.18
陸用内燃機関	433	13.1	1.1	陸用内燃機関	353	16.0	1.0	陸用内燃機関	440	20.2	1.1	1.14
医療機械	321	5.5	0.8	医療機械	284	4.7	0.8	医療機械	332	10.9	0.8	1.20
繊維機械	220	16.3	0.6	繊維機械	174	12.6	0.5	繊維機械	158	15.7	0.4	0.66
農業機械	162	0.7	0.4	農業機械	141	19.8	0.4	農業機械	129	0.2	0.3	0.61
産業車両	147	10.9	0.4	産業車両	124	11.7	0.4	産業車両	142	9.4	0.4	0.66
19業種合計	37,089		97.5	19業種合計	32,810		97.4	19業種合計	38,425		97.6	0.77

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハソコ、HDD・プリンタ等部品。

(5)機種別動向～発電機、工作機、光学機等は好調、半導体製造装置、TV、電算機等は減少～
 ・伸び率上位機種は、ASEAN、中国、北米等向け発電機(61.5%増)、北米、中国、EU等向け工作機械(36.0%増)、韓国・台湾、EU、その他地域等向け光学機械(20.2%増)、北米、中国、EU等向け陸用内燃機関(20.2%増)、EU、北米、中国等向け産業用ロボット(19.1%増)、EU、北米、ASEAN等向け分析・試験・検査機(16.8%増)、その他地域、北米、中国向け等運搬機械(16.6%増)、その他地域、北米、EU等向け建設機械(15.9%増)、EU、北米、韓国・台湾向け等ペアリング(14.9%増)、北米、中国、ASEAN向け等自動車部品(11.1%増)などとなっている。

一方、最も落込み幅が大きいのが、半導体製造装置(35.5%減)、TV(30%減)、エアコン(25.9%減)、電子計算機(20%減)、ラジオ(19.1%減)、磁気カード・ディスク(16.8%減)、繊維機械(15.7%減)、民生用電子部品(14.9%減)、医療機械(10.9%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/7			2011/8			2011/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	873	47.4	金属加工機械	333	56.0	発電機	137	61.5
産業用ロボット	125	36.6	船舶	1,516	27.7	工作機械	886	36.0
デジカメ・ビデオ	758	17.4	産業用ロボット	106	27.0	光学機械	1,463	20.2
繊維機械	220	16.3	デジカメ・ビデオ	673	21.0	陸用内燃機関	440	20.2
陸用内燃機関	433	13.1	工作機械	730	20.2	産業用ロボット	108	19.1
時計	107	11.0	農業機械	141	19.8	分析・試験・検査機	816	16.8
産業車両	147	10.9	陸用内燃機関	353	16.0	運搬機械	236	16.6
ペアリング	423	10.3	ペアリング	359	16.0	建設機械	1,248	15.9
運搬機械	233	10.2	発電機	97	14.2	ペアリング	406	14.9
			産業車両	124	11.7	自動車部品	4,325	11.1
機種合計	3,319	8.7%	機種合計	4,432	13.2%	機種合計	10,065	25.6%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/7			2011/8			2011/9		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1704	29.6	半導体製造装置	1,315	17.9	半導体製造装置	1,021	35.5
電子計算機	469	18.7	録画・再生機器	16	17.0	TV	85	30.0
民生用電子部品	898	16.1	電子デバイス	2,931	16.5	エアコン	10	25.9
電子デバイス	3,172	15.1	TV	84	16.5	電子計算機	472	20.0
磁気カード・ディスク	186	10.2	貨物自動車	572	14.4	ラジオ	10	19.1
機種合計	6,429	16.9%	繊維機械	174	12.6	磁気カード・ディスク	168	16.8
			民生用電子部品	852	12.0	繊維機械	158	15.7
			機種合計	5,944	17.6%	民生用電子部品	913	14.9
						医療機械	332	10.9
						機種合計	3,169	8.0%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、TVは大幅減、乗用車は大幅増～

・9月の機械輸入伸び率は2.5%減と再び減少となった。その要因は、二大輸入機種の一つ電子デバイス(22.4%減、7ヶ月連続)やTV(27.2%減、2ヶ月連続)、民生用電子部品(20.8%減、8ヶ月連続)が2ケタ減となったこと、電子計算機(4.6%減)、白物家電(0.9%減)がマイナスに転じ、携帯電話が鈍化したこと等による。一方、乗用車(41.5%増)のみが二桁の伸びとなった。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、録画・再生機器、時計、ラジオ、医療機器、エアコンとなっている。

・地域別機械輸入額は、中国(3.1%減)、ASEAN(1.8%減)、EU(16.9%増)、北米(7.3%減)、韓国・台湾(12.8%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/7				2011/8				2011/9			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,676	4.3	12.4	電子計算機	1,550	6.2	11.4	電子計算機	1,593	6.1	12.1
電子デバイス	1,438	23.6	10.6	電子デバイス	1,389	28.4	10.2	電子デバイス	1,492	22.4	11.3
重電気機械	705	1.4	5.2	乗用車	710	30.3	5.2	乗用車	685	41.5	5.2
白物家電	674	17.4	5.0	重電気機械	680	9.6	5.0	自動車部品	654	2.5	5.0
携帯電話	657	57.1	4.9	自動車部品	619	1.1	4.6	重電気機械	618	1.2	4.7
自動車部品	555	16.2	4.1	白物家電	557	27.8	4.1	白物家電	455	0.9	3.5
TV	508	4.6	3.8	携帯電話	563	42.1	4.1	携帯電話	446	6.2	3.4
乗用車	465	14.8	3.4	TV	429	14.3	3.2	医療機器	402	3.3	3.1
医療機器	425	9.1	3.1	医療機器	429	6.0	3.2	TV	349	27.2	2.7
光学機械	317	1.7	2.3	光学機械	336	5.5	2.5	光学機械	337	3.4	2.6
民生用電子部品	295	12.8	2.2	民生用電子部品	274	18.8	2.0	民生用電子部品	309	20.8	2.3
分析・試験・検査機	243	9.0	1.8	分析・試験・検査機	256	3.9	1.9	分析・試験・検査機	250	3.3	1.9
12機種合計	7,958		58.8	12機種合計	7,792		57.3	12機種合計	7,590		57.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械